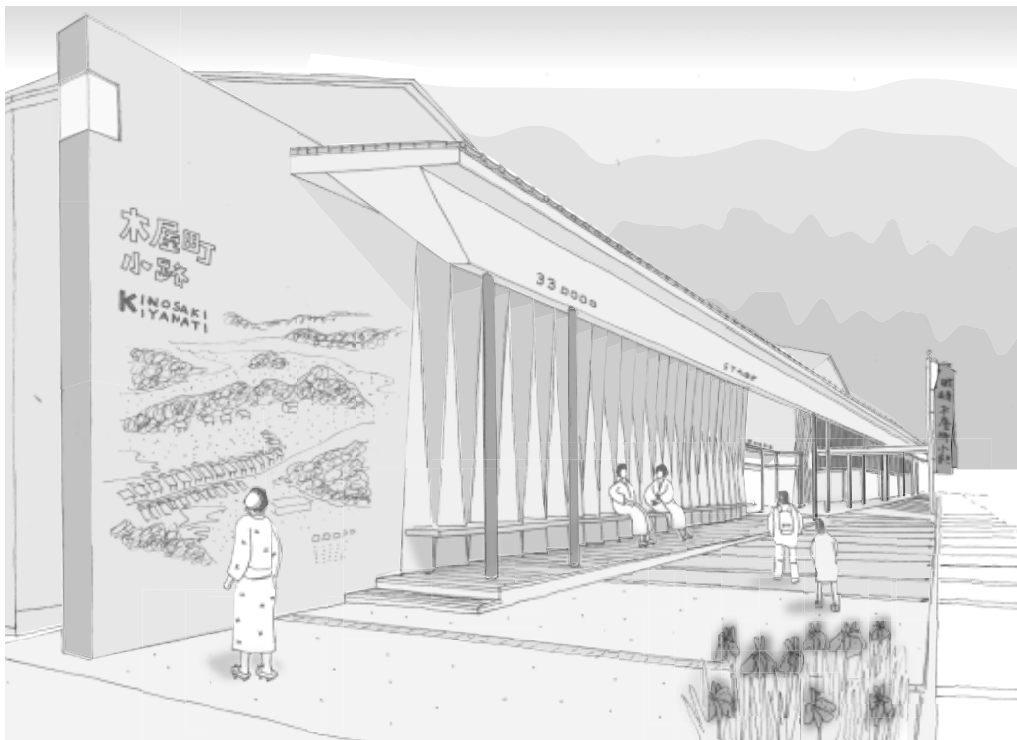


平成20年
7月オープン
(予定)

城崎温泉に人と人がめぐり逢える新たな空間を整備

(仮称) 木屋町小路の基本プランが決定



現時点における(仮称)木屋町小路のイメージ図。四所神社側から木屋町通り方面を望む

市では、城崎地域の中心市街地の活性化および豊岡市の地場産業の育成・振興のため、城崎温泉街において「(仮称)木屋町小路」整備事業を進めています。

このほど本施設の基本プランがまとまりましたので、お知らせします。

なお、今後、この基本プランに基づき実施設計を仕上げ、来年度、建設工事に着手し、平成20年7月のオープンを目指します。

【問合せ】城崎総合支所地域整備課

地域と連携した
計画づくり

本事業は、平成14年度に城崎町商工会が「(仮称)木屋町小路」の予定地にあった旧旅館の買収と産業振興施設の整備を当時の城崎町に要望したことを受け、進められてきたものです。

その後、参画と協働による地域振興を図るため、同商工会と連携して本事業を推進することになり、平成16年度に、同商工会や城崎温泉観光協会の代表者からなる「温泉街活性化委員会」が設置されました。活発な協議が重ねられ、末、同会から、温泉街ににぎわいを創り、活性化を図るため、テナントと憩いの空間を作ることを望ましいと行政に提案がありました。

この提案を受け、城崎町中心市街地活性化基本計画策定業務を委託した早稲田大学理

工学総合研究センターに現地調査や整備方針の検討を依頼し、平成16年12月に本事業の基本構想がまとめられました。

平成17年度、「木屋町小路プロジェクト」が商工会内に設置され、施設設計、テナント運営を含めた施設運営のあり方などが再度協議され、市と同プロジェクトが協議を重ねながら、今年8月、「(仮称)木屋町小路」の基本プランがまとまりました。



▶完成イメージ模型を囲み、(仮称)木屋町小路の施設設計を検討する城崎町商工会「木屋町小路プロジェクト」の皆さん

テナントや三十三間^{げん} 広場などを整備

基本プランでは、四所神社と木屋町通りをつなぐ約1、051平方メートルの用地に、にぎわいが創出できるテナントと、市民や観光客が憩い、集えるオープンスペース「三十三間広場」などを有した施設を整備することになっています。整備方針、施設内容、運営イメージは次のとおりです。

整備方針

●城崎温泉街の活性化

観光入込み数が伸び悩んでいる城崎温泉に、観光客誘致の起爆剤となる施設を整備し、活性化を図ります。

●市の地場産業の育成・振興

年間100万人の観光客が訪れる城崎温泉を舞台に、起業しようとするチャレンジ精神旺盛な方にビジネスチャンスを提供し、地場産業の育成・振興を図るとともに、城崎地域の課題である空き店舗対策にも寄与します。

●市の観光振興

市の観光交流の核施設として、情報発信を行います。

施設内容

●テナントゾーン

市民や観光客でにぎわい、城崎の新しいブランドになり得るような、こだわりのオリジナルテイラーのあるテナント10店舗（7～12坪）

●三十三間広場

市民や観光客が憩い、イベントなども開催できる南北に連なるオープンスペース（約220平方メートル）

●火伏せ壁

北但大震災の復興まちづくりを後世へ伝える火伏せ壁（高さ約6メートル、長さ約56メートル）

運営イメージ

●指定管理者制度の採用

指定管理者が、テナント使用料などの収入をもって、施設の維持管理、テナントの運営管理、活性化イベントなどを実施します。

●テナントの使用期間

1年を予定。更新は可能ですが、最高10年間を限度とします。

●空き店舗への入居

（仮称）木屋町小路で育成

されたテナントが、城崎温泉街の空き店舗に入居し、温泉街の活性化に寄与することを目指します。

今後のスケジュール

平成18年度

・実施設計業務

平成19年度

・第1次テナント募集

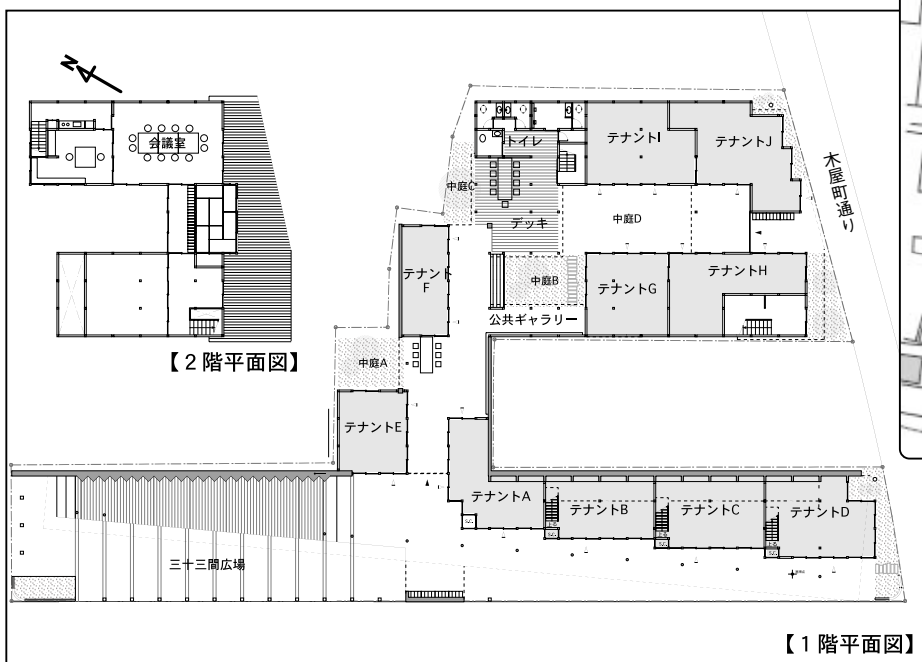
平成20年度

- ・建設工事
- ・施工監理
- ・用地購入
- ・備品整備
- ・第2次テナント募集
- ・テナント内装工事（入居者実施）
- ・オープン（7月）



（仮称）木屋町小路の建設予定地

（仮称）木屋町小路平面図



※平面図は現時点のものです



位置図